

自治会が実施しました、「生活道路安全対策に関するアンケート調査」にご協力ありがとうございました。アンケート調査の結果がまとまりましたので、ご報告します。

## アンケートの実施

自治会は、生活道路対策の参考とするため、全会員（空家を除く1137世帯）を対象に平成30年9月20日～10月4日の間、アンケート用紙を配付して匿名による調査を実施。およそ3分の2にあたる736世帯（回答率65%）から回答が寄せられました。

## アンケート結果の概要

その結果を集約しますと、回答された6割超の世帯は「生活道路の安全は守られていない」と回答、また住まいの場所に殆ど関係なく7割の方々から「何らかの対策が必要である」との意見でした。

その主なものは、**速度制限の見直し**を求めた回答が最も多く32%、続いて**ハンプ、カラー舗装や自転車通行帯など物理的仕組みを設ける**とした回答が26%でした。**マナーの向上**は17%、**警察による取締り強化**を求めたのは全体の12%でした。新たな対策の進め方については、8割の方々から「**住民の意向を受けた自治会が安全対策の実施を働きかける努力をする**」と、自治会が主導して行政や専門家と協力をしながら進めるという意見に賛成でした。

また自由記述で最も多かったのは、「**速度超過の通行が多い**」という意見でした。続いて多かったのが「**集団で猛スピード走るロードレーサー（自転車）**」への苦情、「**バス停近くの横断歩道の安全性**」に関する意見でした。また「**街路樹が茂りすぎて通行の支障になっている**」という意見や、「**住民自身のマナーの向上を求める**」意見も多くありました。その一方で「**道路対策を進めるにあたっては慎重にすべき**」との意見もありました。

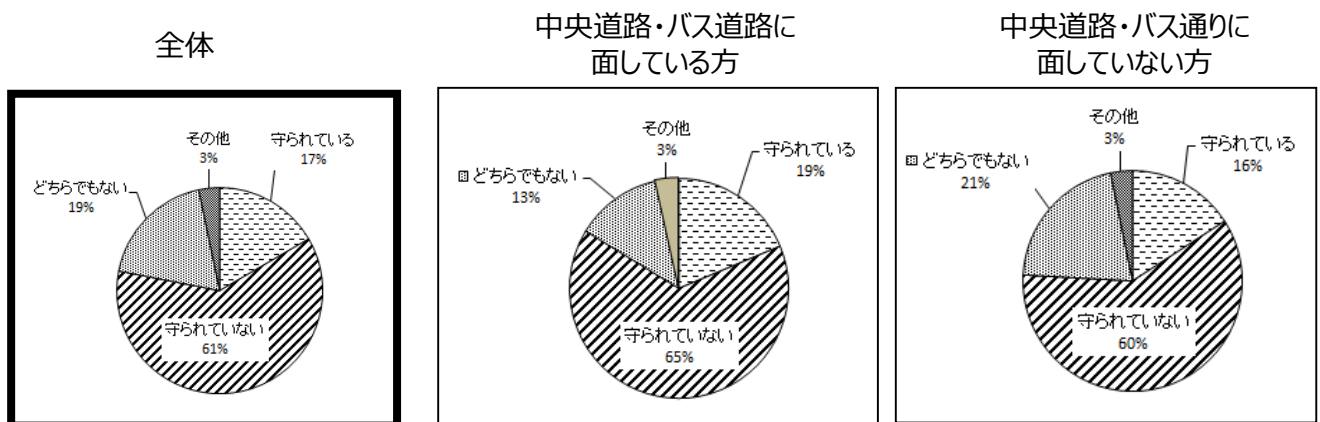
自治会では、今回のアンケート結果をふまえて、行政の指導や専門家のアドバイスを受け、さらに近隣自治会とも連携しながら、安全向上のための施策案を作成し、実行に努力してまいります。併せて住民の「**交通ルールの徹底**」「**交通マナーの向上**」に取組み、松が丘の安全な「**まちづくり**」を推進したいと思います。こうした趣旨をご理解いただき、今後ともご協力をお願いいたします。

## アンケート結果

### 1) 生活道路の安全は守られているかどうかの質問

#### 6割の世帯が生活道路の「安全は守られていない」と回答

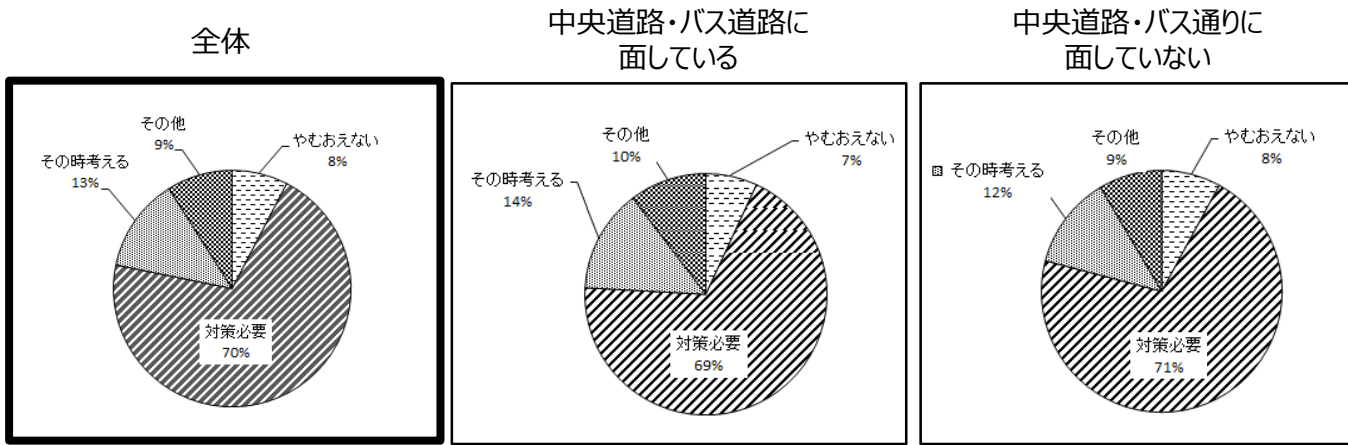
※ お住まいの場所による回答の差はあまりない



## 2) 現状と将来の懸念についての質問

### 7割の世帯が「何らかの新たな対策が必要」と回答

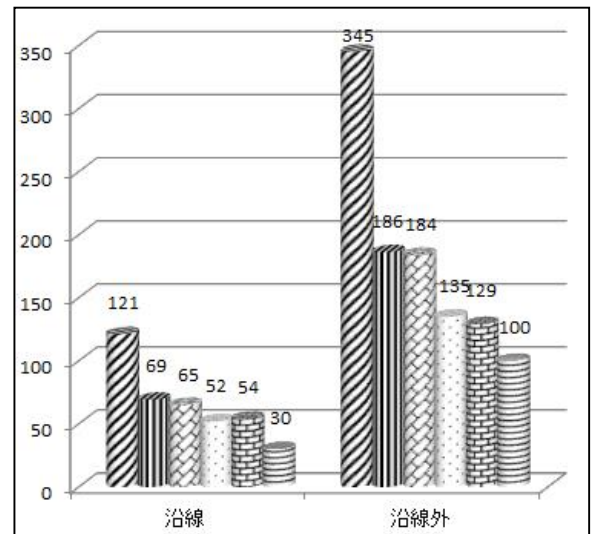
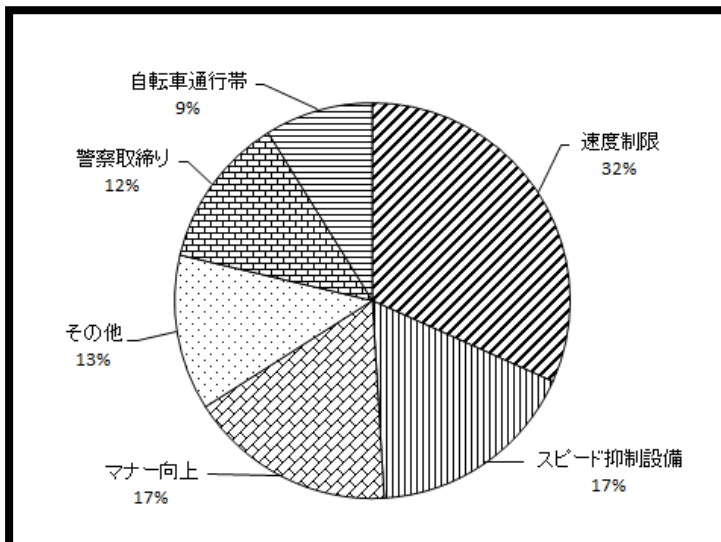
※ お住まいの場所による回答の差はあまりない



## 3) 新たな対策（複数選択）についての質問

### 6割弱の世帯が「速度制限および抑制対策が必要」と回答

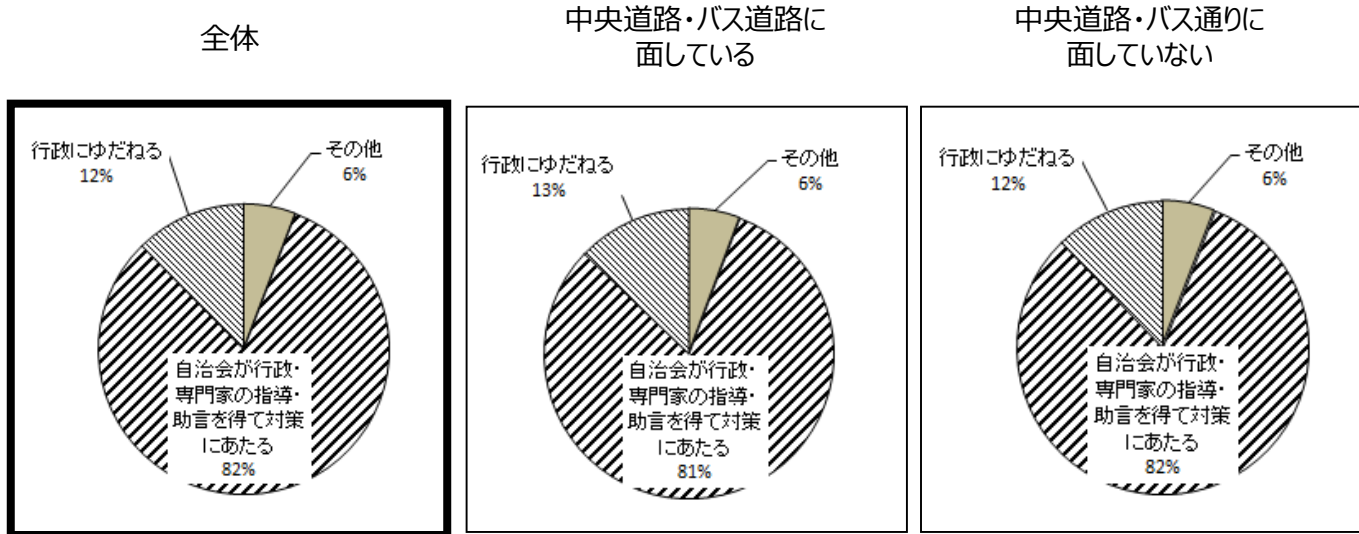
- 速度規制32% + スピード抑制設備17% + 自転車通行帯9% ⇒ 58%
- マナー向上17% + 警察の取締り強化12% ⇒ 29%



#### 4) 今後の進め方についての質問

**8割の世帯が「住民の意向を受けた自治会が、行政や専門家の協力を得て、対策を検討し、実施を働きかける努力をすべき」と回答**

※ お住まいの場所による回答の差はあまりない



#### 5) 危険箇所についての質問

**347世帯（31%）の方から危険箇所のご指摘を頂きました**

指摘箇所を「自動車」「自転車」「歩行者」に分けて地図上にプロットしました。別紙を参照ください。

## 6) 生活道路の安全確保、振動・騒音対策等についての自由記述による意見

### 336世帯（30%）の方から多くのご意見を頂きました

#### 主なご意見

- 最も多かったのが、**速度超過の通行が多いという意見**で、
  - ・ 中央通りは、通称「松が丘ハイウェイ」と呼ばれ、スピードオーバーが著しい車両が多い。自転車通行帯を作るなど車両通行の幅を狭める対策が必要。
  - ・ 約9割の車が速度違反である。
  - ・ スピードを出し過ぎる、法令・マナー違反の方が多すぎる。
  - ・ 知人に、松が丘は信号がないので気分よく車を飛ばせるので抜け道にしやすいと言われた。など、同様の意見の方が39名でした。
  
- 次に多かったのが、**集団で猛スピードで走るロードレーサー（自転車）に関する苦情**で、
  - ・ ロードバイクが集団でスピードを上げて走るのをよく見かけるが、非常に危ない。
  - ・ 競技用自転車がものすごいスピードで練習しているのは危険。など、38名の方が何らかの対策を講じるべきだという意見でした。
  
- 続いて多かったのが、**バス停付近の横断歩道の安全性に関する意見**で、
  - ・ 横断歩道で歩行者がいても停まる車はほとんどいない。
  - ・ 昔と比べて、車の量が増えている。歩行者がいても停まってくれない。
  - ・ 横断歩道はあるが、道がカーブしているため視界が悪く危険を感じる。横断歩道のある場所に、信号機の設置を。
  - ・ これから松が丘は高齢化に向かい、ますます歩くのがゆっくりに、そしてバス利用が多くなる。せめてバス停付近には信号機の設置を。など、25名の方が道路横断の際の危険とその対応策を訴えていました。
  
- また**街路樹に関する意見**も多く、
  - ・ 中央通りを渡る際、街路樹で視界が見えにくい。街路樹の下の方を刈ってほしい。
  - ・ 並木を減らして視界を良くする。と街路樹・植込みの茂り過ぎで見通しが悪く、通行に支障をきたしているという意見の方が15名でした。

- このほか、
  - ・住民自身の法令・マナー遵守を徹底する。
  - ・中央通りの速度取締りを頻繁にやってほしい。
  - ・以前より減ったが、バイクが騒音を立てて早朝、深夜走行をする。
  - ・路上駐車が定常化しているお宅がある。
  - ・T字路へのカーブミラーの設置を要望する。
  - ・危険交差点（松が丘東、松が丘中央、松が丘西）の改善を求める。
  - ・車の抜け道にならないような対策を進めてほしい。
  - ・バスの運行は、住民にとって不可欠で大切な生活手段。バスが遅延しないように知恵を。
  - ・松が丘中央交差点付近に交番を設置してほしい。
  - ・静かで自然環境の整った松が丘が、先々抜け道扱いの道路にならないよう、住民の代表である自治会を中心に早めに対策を考えてほしい。
  - ・松が丘住民のエゴと取られないような道路対策を進めてほしい。
 という意見もありました。
  
- また、その一方で、
  - ・松が丘に住んで13年、特に気になる点、心配な点はない。快適に暮らしている。
  - ・家を選ぶ時点で覚悟していた。住民＝運転手＝歩行者なので、それぞれが思いやりの気持ちで生活、気をつければよい。
  - ・安全と便利さのさじ加減が難しい。ゴーストタウンを避け、若い世代に魅力あるまちづくり、専門家の助言を。
 と、新たな道路対策を進めるにあたっては慎重にすべきだという意見もありました。

## アンケート結果に基づく、今後の活動予定

- ① アンケート結果を理事会で承認のあと、各戸配布（アンケート結果の周知と共有）
- ② 市、警察、専門家、近隣町内会にアンケート結果を提供、共有
- ③ アンケート結果に基づき、市、警察からの指導と専門家の助言、近隣町内会と連携を取りながら勉強会の実施（3回程度）
- ④ 対策に向けての社会実験等の案を理事会が策定
- ⑤ 第37回定期総会（2019年）にて、途中経過の報告と方向性（社会実験等）の提案・承認を求める
- ⑥ 定期総会での承認を受け、社会実験等の準備と実施
- ⑦ 社会実験等の結果を受け、自治会案を作成し、住民説明会を実施
- ⑧ 住民説明会を受け、自治会最終案作成
- ⑨ 臨時総会または2020年定期総会にて道路対策を提案へ